

第2回

リベラルアーツ 連続講演会

主催：豊橋技術科学大学 総合教育院

2021年

10月9日 土 13:30-15:00

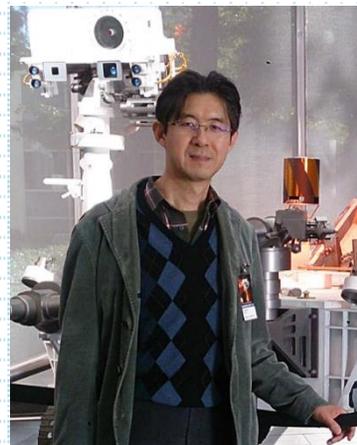
Zoomウェビナー開催

講演タイトル

小惑星探査機「はやぶさ2」の成果と新しい旅

講演者：岩田 隆浩氏 (JAXA 宇宙科学研究所 准教授)

「はやぶさ2」探査機は、小惑星「リュウグウ」への6年間の旅を終え、2020年12月に地球に無事帰還して、サンプルを送り届けた。そして今、新たな旅に向かっている。これまでに明らかにした科学的成果と今後の目標について紹介する。



【講演者プロフィール】

岐阜県生まれ。名古屋大学大学院 理学研究科にて博士号を取得。郵政省通信総合研究所、宇宙開発事業団(いずれも当時の名称)を経て、JAXAが誕生した2003年より、宇宙科学研究所の准教授に就任。2007年に打上げられた日本初の大型月探査機「かぐや」では、世界初となる月の裏側の正確な重力地図を描くことに成功した。そして現在、小惑星リュウグウを探査した「はやぶさ2」によって、地球の水の起源の謎の解明に挑んでいる。また、将来の火星探査、月面探査などの計画にも関わっている。

お申し込み：以下のリンクからお申し込みください。

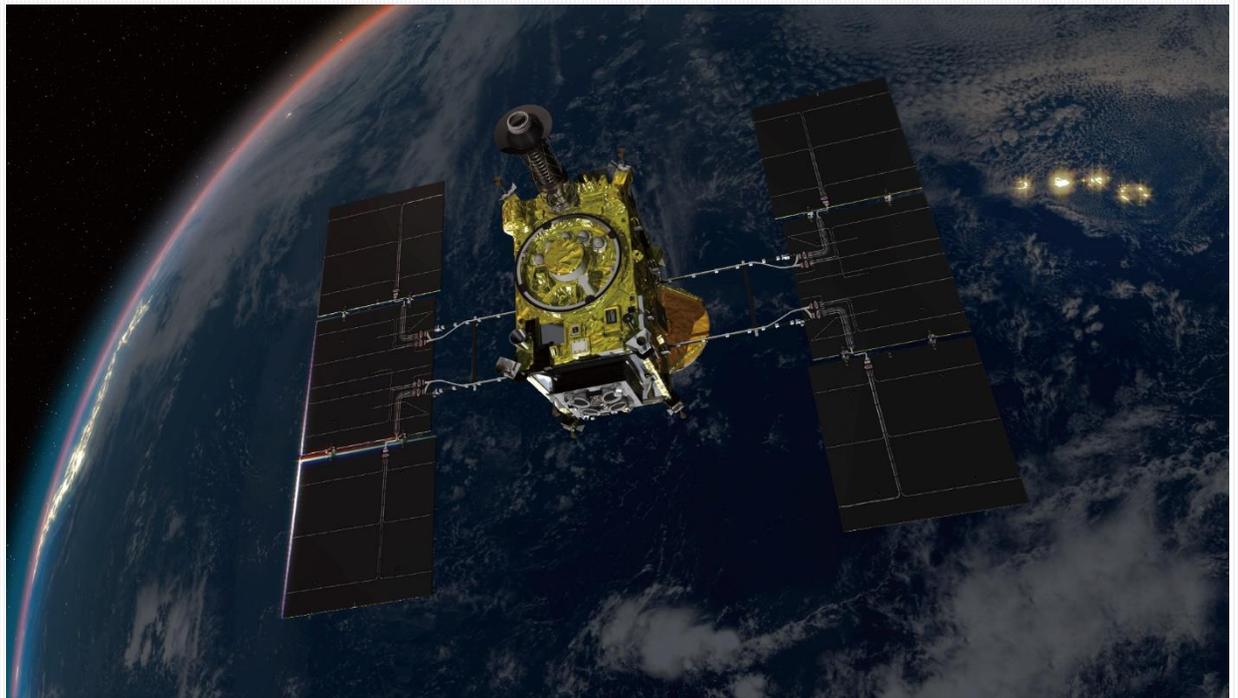
https://zoom.us/webinar/register/WN_-29utItGTgGay7VZ9E4_hg

お問い合わせ先：liberalarts_tut@las.tut.ac.jp (梁・社河内)

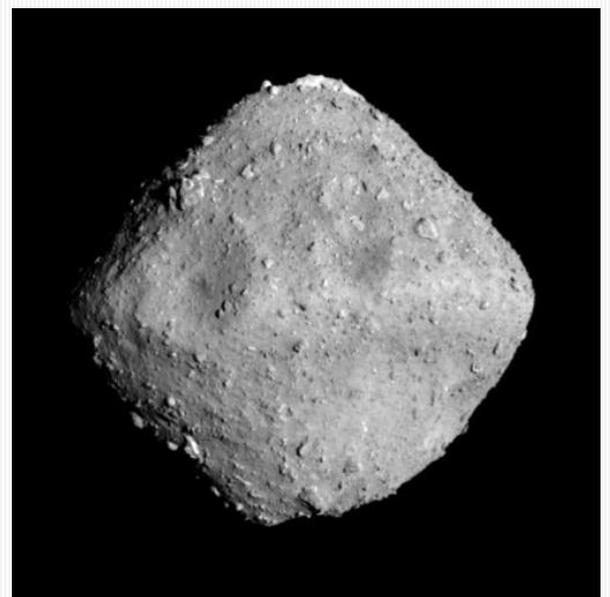




H-IIAロケット26号機／小惑星探査機「はやぶさ2」(Hayabusa2)の機体移動(JAXA)



「はやぶさ2」地球スイングバイ(JAXA)



(左)ONC-Tによる撮像:「行ってきます。地球」(JAXA・産総研・東京大・高知大・立教大・名古屋大・千葉工大・明治大・会津大)

(右)約40kmの距離から見たリュウグウ(JAXA・東京大・高知大・立教大・名古屋大・千葉工大・明治大・会津大・産総研)